

第145回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年8月4日（木）16：30～16：44
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

5ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

昨日（3日）の新規陽性者数は2,010人でした。

過去最多となった一昨日の2,063人は下回りましたが、これまでで2番目に多い新規陽性者数となり、二日続けて2,000人を超えました。

次に、4ページ。

8月3日現在の療養者の状況です。入院者が370人、うち重症者が2人となっています。

入院者数は、先月19日以降、300人を上回っております。

療養者数は、合計で15,453人となり、先月20日以降、15日続けて過去最多を更新し続けております。

また、自宅療養者数14,710人も過去最多となります。

即応病床数については、現在の感染拡大状況を踏まえ、通常時最大の749床への調整作業を行っているところですが、本日時点で、これまでの728床から17床増の745床となっております。

なお、残りの4床についてですが、即応病床への切り替えを進めている医療機関において、陽性者及び濃厚接触者となった医療従事者が多数生じていたことから、即応化に時間を要しているところであります。

引き続き調整を続けてまいります。

次に、6ページ。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は602.19人（3日現在）。これまでで最多となっております。

次に、8ページ。

病床使用率は49.4%（3日現在）。レベル3の基準である50%を下回っているも

のの、引き続き高い水準で推移しております。

次に、10ページ。

人口10万人当たりの療養者数は、842.97人（3日現在）。こちらも過去最多を更新しております。

次に、12ページ。

保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

白河市が900人を超えているほか、郡山市、須賀川市、いわき市、福島市が600人を超えており、すべての市で400人を上回っております。

次に、13ページ。

保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

二本松市が700人を超えているほか、本宮市が再び600人に近づいており、他の各市においても400人を超えております。

次に、14ページ。

モニタリング指標です。

「入院率」（2.4%）、「人口10万人当たりの療養者数」（842.97人）、
「PCR陽性率」（42.5%）、
「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」（602.19人）が、レベル3、
「病床の使用率」（49.4%）が、レベル2、
「重症者用の病床使用率」（4.4%）、が、レベル1となっております。

次に、16ページ、資料3。

医療機関以外での検査について、ご説明いたします。

濃厚接触者や有症状者の方のうち、重症化リスクが低い方については、検査キット配布センターにお申しいただくことによりまして、検査キットをお送りいたします。

現在、1日あたり3,000キットに増やして対応をしております。

また、症状の無い方については、県内207カ所の薬局などの検査実施場所において、無料の検査が受けられます。

加えて、明後日6日より16日まで、JR福島駅、郡山駅に臨時の検査拠点を開設いたします。

こうした検査をぜひご利用いただきますようお願いいたします。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

17ページ、資料4をご覧ください。

【資料4】

1 接種実績につきましては、8月3日時点で、3回目接種の回数が、1,300,063回、全人口に対する接種率は69.8%となっており、4回目の接種回数は223,643回となっております。

また、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が39.6%、2回目が36.8%となっております。

次に資料下段、3回目接種の年齢階級別接種率をご覧ください。本県は、80歳台を除いて、全国を上回っている状況にあります。若い世代の接種率は、高齢者層と比べ、相対的に低い数値となっております。

次ページをご覧ください。

現在、感染者の状況や医療提供体制への負荷は、非常に厳しいものとなっていることから、更なるワクチン接種を促進するため、明後日の土曜日に新聞広告により1回目から4回目接種及び小児接種の呼びかけをいたします。また、来週9日から、印象に残るイラストのバナーを用いて、SNSにより若い世代や小児接種の対象となる親御さん世代に向けてワクチン接種を呼びかけてまいります。

次ページをご覧ください。

県といたしましても、ワクチン接種を促進するため、7月に続き8月も県内4地域において、ノババックス社ワクチンを用いた1回目～3回目接種を実施しております。

なお、郡山市における実施分につきましては、既に予約が定員に達したことから、30人分の予約枠を追加することといたしました。

追加分につきましては、明日8月5日午前9時から県コールセンター及び県ホームページで予約受付を開始いたします。

引き続き、市町村と連携し、ワクチン接種の推進にしっかりと取り組んでまいります。説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

ほんの1か月くらい前は1日の陽性者数が85人だったものが、今はもう2,000人オーバーということで、私にとっては目がくらむような数字であります。

皆さんお元気であればまだいいですが、皆さんに知っていただきたいのは、370人もの大勢の方が実際に入院をされているということを忘れてはならないと思いますし、また、中には重症の方も4.4%と、じわじわと増えてきております。

また、これから帰省される方、あるいはお祭り、あるいはお盆で集まるような機会もふえてくると思います。

2つだけお願いをさせていただきたいのは、この感染症、エアロゾル感染が感染経路の主なものということですので、マスクを外すタイミングが非常に危険であるということ。そして、多くの人が集まる時には、換気を十分にさせていただかないと、気を緩めるところで感染してしまうことをしっかりと覚えていただければと思います。

(知事)

はじめに、急速な感染拡大が続く中、県民の皆さんの命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で一生懸命御努力され続けていただいている医療関係者の皆さんに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、感染拡大防止のため、長期にわたり、様々な御協力をいただいている、県民の皆さん、事業者の皆さんに心から御礼を申し上げます。

全国では、昨日、1日当たりの新規陽性者数が、これまでで最多となる24万9千人を超え、24道府県において過去最多を更新するなど、感染の急激な拡大が続いています。

福島県においても、一昨日(2日)、これまでで最多となる2,063人の新規陽性者を確認したほか、昨日(3日)も2,010人の感染が確認され、2日続けて2,000人を超えており、感染が急拡大しています。

また、7月のクラスターの発生件数は、過去最多の119件となり、6月に比較して3倍以上となりました。特に、7月に入ってから、これまで多かった児童施設や学校だけでなく、高齢者施設や医療機関など、あらゆる場面でクラスターが発生しています。

このように、新規陽性者数が大幅に増えることで、外来・入院の負担が増加するとともに、院内感染や、家庭内感染によって医療スタッフが出勤できなくなる事例が増え、コロナ医療はもとより一般医療や救急医療の現場の負担が増し、必要な医療が受けられなくなるおそれもあります。

このため、県民の皆様には、「医療を守る対策の強化」と「感染拡大警報の取組強化」に対する御協力をお願いします。

「医療を守る対策の強化」として、まず、医療機関の適正な利用をお願いします。緊急の場合を除き、通常の診療時間内に受診してください。

また、検査のためだけの受診を控え、福島県新型コロナ検査キット配布センターや、無料検査制度等を御活用ください。

次に、医療従事者やお子さんのワクチン接種の推進です。

ワクチンの4回目接種については、医療従事者等も接種の対象となりましたので、速やかな接種をお願いします。

また、お子さんを通じた家庭内感染や濃厚接触者となったことで出勤できない医療スタッフも増えています。お子さんのワクチン接種につきましても、御家庭内で話し合うなど、是非御検討をお願いします。

これ以上、医療の負荷を増大させないためにも、改めて、県民の皆さんにおかれては、先般（7月20日）発出した「福島県感染拡大警報」における8つの対策について、熱中症にも注意しながら取り組んでいただくようお願いします。

特に、これからお盆の時期を迎え、帰省等で移動する機会が増えてきます。移動先の感染情報を把握し、特に混雑する場所や感染リスクの高い場所へ行く際には十分注意してください。

移動する際には、移動中の感染リスクにも注意を払う必要があります。特に、密室となる車内で複数の人と移動する際には、マスクを正しく着用したり、換気を行うなど、基本的対策を徹底するようお願いします。

また、無症状で感染を広げないよう、無料検査を積極的に活用してください。

県内全域でこれまでにないほどの勢いで感染が拡大しており、医療体制への負荷が高まっています。

こうした状況において、地域医療を守ることは、私たち自身と大切な方の命と健康を守

ることにつながります。県民の皆さんお一人お一人が強い危機意識を持って「医療を守る対策の強化」と「福島県感染拡大警報の取組強化」に取り組んでいただくことが重要です。

県民の皆さんの御協力をよろしくお願いします。

各部局、各地方本部、各保健所においては、常に危機感と緊張感を持って、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。